

お盆は本堂にお参りしましょう。

東円寺は、昔からお盆の期間中（8月7日～16日）本堂に地獄絵図の掛け軸をかけています。東円寺の地獄絵図は、年号などが無い為に、どのくらい前のものか分かりませんが、かなり古いものです。地獄絵図は、怖いものではなく、人が生きるための戒めとして、作られたものです。

是非、ご覧になって下さい。

また、以前から、東円寺会計報告の報告方法を歴代の総代さんと話し合いをしてきました。3年前には、区会事務所に会計報告を閲覧できるようにしました。残念なことです、見た方はいらっしゃいませんでした。その後、結論がでないまま現在に至っています。今年はお盆の期間中、本堂に会計報告を開示することにしました。

子育て地藏尊大祭とオカリナ演奏会ご報告



4月24日、東円寺厄除け・子育て地藏尊のお祭りが満開の桜の元で盛大に行われました。今年、子育て地藏尊（石像）が建造されて300年にあたります。そこで、恒例のオカリナ演奏に加えて、祈願成就のための地蔵護摩を厳修することになりました。また、東日本大震災で被害に遭われた方のご冥福と、一日も早い復興をお祈りさせていただきました。多くの皆様の善意、有り難うございました。



地蔵尊祭パザー売上金と皆様からの義捐金の内訳

- 忍野図書館（寄付） ￥30,000
- 東日本大震災義捐金
- 一隅を照らす運動事務局 ￥35,000
- 忍野村役場 ￥26,245

仏参金等納入口座変更のお知らせ

これまでの口座振り込みは銀行口座のため、振り込み手数料がかかりました。大変ご迷惑をおかけしましたが、この度、郵便局の口座を新設しました。郵便局ではカードを使用しての振り込みは無料です。これからは下記に振り込んでください。

郵便局口座 記号10800 番号6654231

口座名義 トウエンジ 又は 東圓寺

尚、山梨中央銀行口座も従来通りご利用できます。

山梨中央銀行 忍野支店

口座 普通 121086 東圓寺

造像700年記念 村指定重文 聖観音像安置 観音堂再建基金 浄財寄進者芳名

2017年竣工予定、観音堂再建基金として下記の皆様から浄財を寄進して頂きました。

（平成23年3月～23年7月）

- 金50万円 渡辺 和男 殿 金30万円 天野 重治 殿
- 金10万円 天野 三吉 殿 金1万円 天野 武 殿 中西 幸太郎 殿（東京都）

編纂・発行
天台宗 東圓寺
電話：84-4114
Fax：84-4104



東圓寺だより

平成23年 お盆号

富士山世界文化遺産の登録が原案された。6年目になり、その間に、前年度を前年より進めた。また、世界遺産の登録作業が終わりに近づいてきました。七月八日に、富士山ビクターセンターにて山梨県側の「富士山保存管理計画」の最終検討会がありました。山梨県の委員の一人として、委員会に参加、文化庁に提出する推薦書原案の最終案ができあがりました。富士山を文化遺産とするには、二つの条件があります。「信仰の対象」「芸術の源泉」です。幸いにも、忍野八海は「信仰の対象」としての価値が認められて、富士山世界文化遺産の構成資産となることになりました。幸いにも、忍野八海は「天然記念物」として、珍重されてきましたが、これからは、単なる富士の湧水ではなく、「信仰の水」として評価されました。八海誕生の歴史を検証し、未来に伝える義務が課せられたことになりました。八海周辺の環境の整備だけでなく、八海の水に纏わる、宗教行事も復興しなくてはなりません。東円寺に残されている、富士講や八海再興に関する古文書を紐解きながら、書物の読み池としての池水、信仰の対象として「富士山根元八海」霊場を再興したいと思っています。多くの皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

平成23年	新盆名簿	天台宗	忍草山	東円寺
平成22年				
8月22日	大森 茂	父	隆	(山中湖)
29日	渡辺 五一	母	一枝	
9月3日	大森 孝康	祖母	たか江	
29日	出口 秀信	妻	治子	
10月9日	長島 令子	父	政夫	(平山)
	大森 寛	母	富子	(吉田)
11月11日	大森 正禪	祖母	米子	(大磯)
	渡辺 寿久	母	隆江	
12月7日	天野 修一	父	林三	
10日	大森 孝男	母	喜登子	
21日	大森 一夫	母	松子	
平成23年				
1月2日	大森 積	義父	福蔵	
20日	大森 政和	父	和市	
	長田 利久	父	利明	
28日	大森 品允	母	江理子	(吉田)
2月8日	長田 啓介	父	作治	
16日	天野 達也	子	水子	(甲斐市)
23日	渡辺 泰郎	子	知邦	
4月11日	長田 行男	父	行三	
13日	大森 隆	父	義仁	
5月18日	天野佳寿雄	子	絃志	
6月3日	天野 重治	父	圭	
11日	天野 徳雄	子	和徳	
27日	大森 修	父	幸雄	
7月2日	渡辺 和男	父	一臣	
	渡辺 リカ	祖母	みかゑ	(大和市)
7月18日	渡辺 俊忠	母	まさ子	
7月21日	渡辺 康康	父	壽男	



東円寺には貴重な仏像がたくさんあります。今回より何回かにわけて紹介していきます。

寺庭のつぶやき

壇信徒の皆様には、平素より東円寺に対しまして、暖かなご支援ありがとうございます。
 前回の東円寺便り（春彼岸号）は、国内観測史上最大規模と言われる東日本大震災の前に印刷されていました。3月11日より4ヶ月が経ちました。私たちは、震災前と変わらない生活を送っています。
 震災を通して、自然の前で人間は無力であることを感じました。しかし、裏を返すと、私たち人間は、大自然からの恵みを無尽蔵に頂いて生きています。自然の恵みに感謝すること。そこから、これからの未来に光が見えてくるのではないかと私は思っています。

4月24日には、子育て地藏尊祭が盛大に行われました。今回は、東日本大震災の義捐金箱を置かせていただきました。多くの皆様の善意を頂戴しました。お預かりしました寄付金は、忍野村役場と、天台宗一隅を照らす運動事務局にお届けしました。また、バザーの収益金は、今年も忍野村図書館に寄付させていただきました。ご協力ありがとうございました。

嬉しいご報告もあります。子育て地藏尊で子授かり祈願をかけられた方から、『子供が授かりました。』と喜びの報告を頂きました。私たちが幸せな気持ちにさせていただきました。

秋には、比叡山団参を予定しています。多くの壇信徒の皆様と、比叡山の阿弥陀堂にてご先祖様のご供養、また、親睦を深める旅行でもあります。多くの皆様のご参加を心からお待ちしております。

東円寺住職の弟子が決まりました。名前は、醍醐法俊（だいごほうしゅん）と言います。今年25歳になります。東円寺の将来を心配してくださるお声は、以前からありました。お地藏様のお祭りに、お手伝いいただいている妙圓寺さんとのご縁でお話が決まりました。

茨城県行方市にあります、観音寺の三男さんです。比叡山学院を卒業後、比叡山での修行を終えて、現在は、東京上野寛永寺にあります、不忍池の辨天堂に勤務しています。来年3月までお勤めした後、東円寺に入る予定です。

今年5月3日に、観音寺をお参りさせていただきました。田園風景が広がる豊かな町です。広い境内、歴史あるお寺です。ご住職は第60世、東円寺の住職は第42世ですから、お寺の歴史の古さは千二百年以上です。

6月5日には、先代の13回忌法要をしました。法要の席をお借りして、お付き合いのあるお寺さん、親戚、近所の皆様に、ご紹介させていただきました。後継者が決まる事を、喜んでくださる方も多く、ご心配いただくご意見もお聞きました。娘は、今年22歳です。年が若いことをご心配くださる方がおられるようです。

しかし、東円寺にとって最優先は、昔ながらの風習や習慣を、しっかり後世に伝えることです。住職の年齢を考えると、現在のまま健康で長生きしていただくためにも、お手伝いして下さる弟子ができることは、檀家さんのため、また、私たち家族のためであると信じています。住職を中心に、これまで以上に、東円寺の発展をめざし努力を重ねて参りたいと思います。今後ともご支援、ご協力を宜しくお願いいたします。

本尊 阿弥陀三尊立像

木造・玉眼 制作年代：江戸時代初期

阿弥陀如来像は来迎印を結び、観音・勢至の両脇侍像を従えて蓮華座の上に立つ。来迎の阿弥陀如来であり、脇侍の観音菩薩は往生者を載せるための蓮台を捧げ（木像では亡失）、勢至菩薩は合掌する姿に表されている。

本尊の台座に享保十九年（1734年）修理と銘記されているので、それ以前の像であることが分かる。本尊の光背は天明二年（1782年）に造られている。光背の裏にはこの光背の造立のために力を尽くした百名を超す村人の名が記されており、当時の忍草の人々の篤い信仰を伺うことが出来る。

裏堂本尊 阿弥陀如来坐像（非公開秘仏）

像高・25, 6cm 制作年代：江戸時代

木造。玉眼を嵌入する。表面の肉身は金泥、衣は金箔でその上に金泥で文様を描いてある。本尊と同じく左右の手の第一指と第二指を接する来迎印を結ぶ阿弥陀如来座像である。作行は丁寧で衣の表現にも変化がある。江戸時代らしい瀟洒で洗練された趣のある尊像である。（山梨郷土研究会会員 鈴木麻里子・高橋晶子 評）

比叡山団参 新霊供養・先祖供養の旅
 参加申し込みは8月16日で締め切ります

恒例の比叡山団参を今年も下記により実施します。彼岸号でも案内しましたが、参加希望の方はお早めにお寺か総代さんまで申し込んでください。

記

- 1, 月 日 平成23年10月18日（火）～20日（木）
- 2, 参加費 55,000円
- 3, 参加者 40名（定員になり次第締め切らせていただきます。）
- 4, 旅 程 （暫定案です。皆さんのご希望により、若干の変更も可能です。）

- 1日目：東円寺――御殿場 i c === 東名・新名神 === 京都東 i c --- 比叡山（先祖供養）
- 2日目：比叡山諸堂参拝――妙法院・三十三間堂――がんこ（昼食）-----
 ---八つ橋本舗--- 京都東 i c === 名神・中央 === 關原 i c --- 昼神温泉
- 3日目：昼神温泉――信濃比叡（参拝）――駒ヶ根（昼食・リンゴ狩り）-----
 ---駒ヶ根 i c === 中央 === 双葉SA（夕食） === 河口湖 i c --- 東円寺